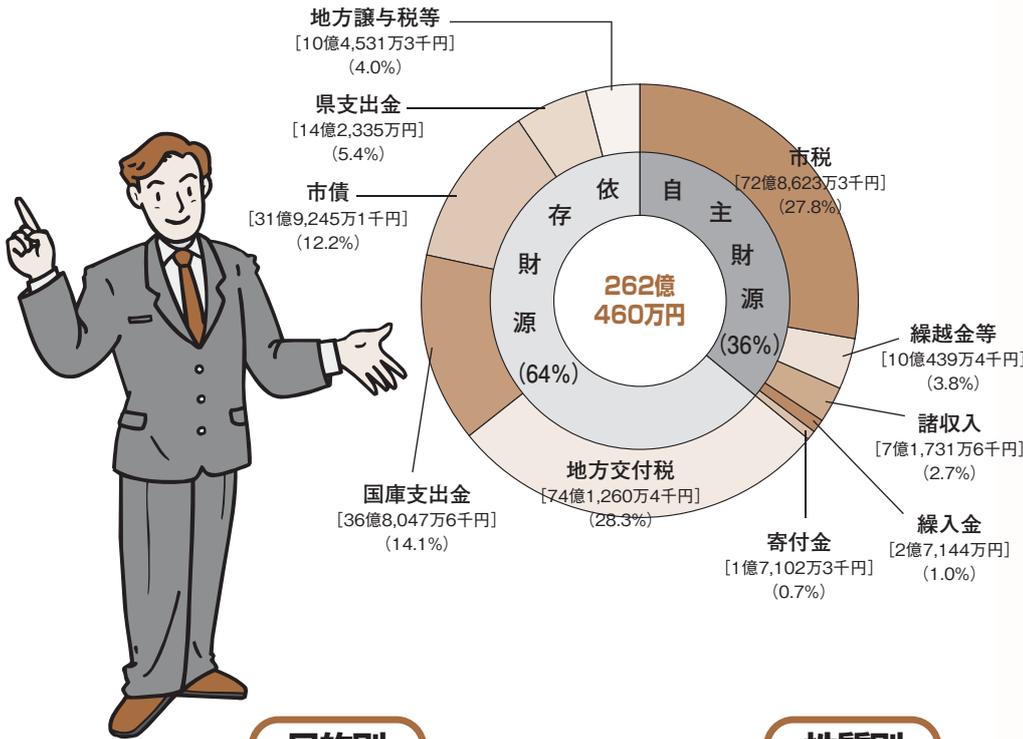


# 平成21年度 決算報告

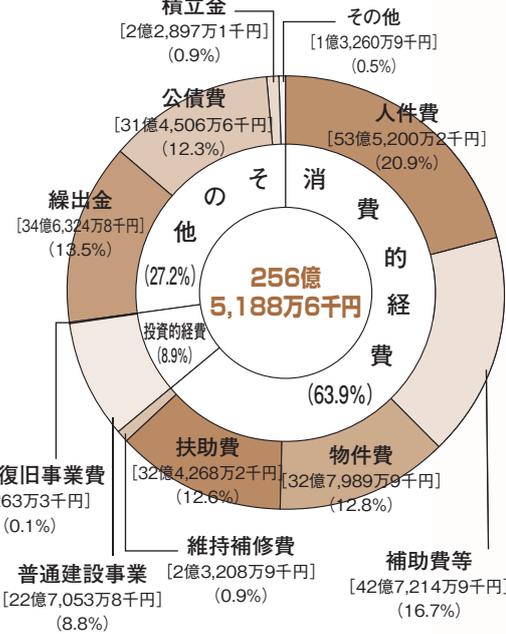
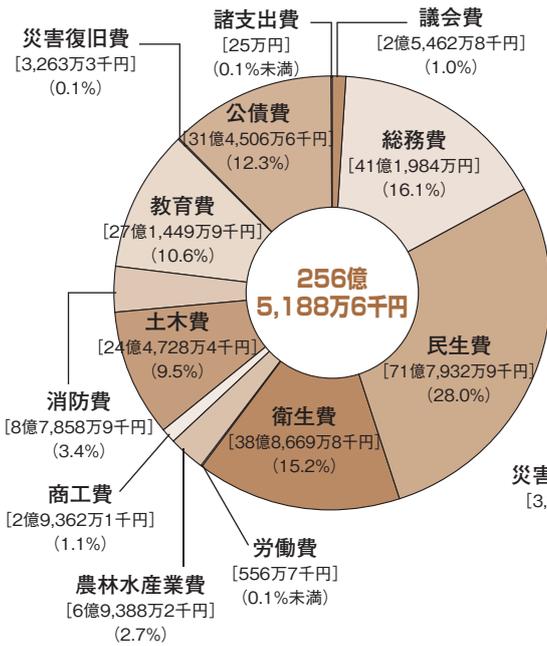
## 一般会計・歳入

## 一般会計・歳出



### 目的別

### 性質別



〔財政課〕

### 〔歳入〕

▽自主財源：地方公共団体が自主的に調達できる財源。この比率が高いほど、行政の自主性や安定性が確保される

▽市税：市民の皆さんから納めていただいた税金や企業からの法人市民税など

▽繰越金：昨年度決算で出た余剰金など

▽諸収入：貸付金の返済収入や預金利息など

▽繰入金：各基金から取り崩して一般会計に繰り入れるお金など

▽寄付金：大規模開発による開発協力金など

▽依存財源：国や県、市により定められた額を交付されたり、割り当てられる財源

▽地方交付税：各市町村が標準的な行政サービスを提供できるように、一定の基準により国が交付する税

▽国庫・県支出金：市が行う特定事業に対して国・県から交付される給付金

▽市債：財政収入の不足を補う借入金

▽地方譲与税等：本来地方税として徴収すべき税を徴収の困難性・税源の偏在などの理由から、いったん国が国税として徴収し、一定の基準に従い地方公共団体に譲与される税など

### 〔性質別歳出〕

▽人件費：議員報酬、特別職給与、職員給与など、勤務の対価として支払われる経費

▽補助費等：各種団体などに対する補助金・負担金、水道事業・病院事業に対する繰入金など

▽物件費：旅費や消耗品費など、他の性質に属さない消費的経費

▽扶助費：社会保障制度の一環として、児童、老人、生活困窮者を援助するための経費

▽維持補修費：市が管理する施設を維持・保全するために行う施設の補修にかかる経費

## 用語解説

# 決算の概要

市の会計は、総務費・民生費・教育費など行政サービスを行ううえで基本となる一般会計と、国民健康保険など14の特別会計、水道事業会計と病院事業会計の2つの企業会計の合計17会計から成り立っています。一般会計と特別会計を合わせた市全体の会計総額は、歳入426億5,959万1千円、歳出415億4,445万円となりました。

平成21年度の一般会計での歳入総

## 基金と起債の状況

単位：千円

		H19年度末	H20年度末	H21年度末
基金	財政調整基金	1,000,893	943,153	1,035,207
	その他の基金	3,872,140	3,891,728	3,889,632
	合計	4,873,033	4,834,881	4,924,839
起債	普通会計	28,092,625	28,855,704	29,312,439
	その他の会計	31,971,298	30,671,537	29,068,973
	合計	60,063,923	59,527,241	58,381,412

## 会計別歳入歳出決算総括表

単位：千円

		歳入	歳出	差引
一般会計		26,204,600	25,651,886	552,714
特別会計	国民健康保険	6,895,005	6,641,946	253,059
	簡易水道事業	86,490	86,481	9
	国民宿舎	20,614	20,613	1
	住宅新築資金等貸付事業	159,891	142,693	17,198
	老人保健	12,873	11,244	1,629
	公共下水道事業	2,156,417	2,106,545	49,872
	駐車場事業	4,223	3,881	342
	墓園事業	33,316	27,497	5,819
	農集集落排水事業	127,781	110,364	17,417
	土地区画整理事業	743,091	668,222	74,869
	介護保険	4,876,425	4,768,019	108,406
	介護サービス事業	39,870	36,163	3,707
	指定訪問介護事業	64,729	48,645	16,084
	後期高齢者医療	1,234,266	1,220,251	14,015
合計	42,659,591	41,544,450	1,115,141	

額から歳出総額を差し引いた額のうち、次年度に繰り越された事業に必要な財源2億7,711万2千円を差し引いた実質収支額は2億7,560万2千円の黒字決算となりました。しかし市税が約2億2千万円減少し、地方交付税や国庫支出金など依存財源にたよった決算状況となっています。

また、市の起債（借金）と基金（預金）の残高の状況と、会計別歳



入歳出決算総括表は次のとおりです。なお、水道事業会計と病院事業会計は、6ページに掲載しています。

### 【目的別歳出】

- ▼普通建設事業費：道路や施設の建設、大規模改修などに伴う経費
- ▼災害復旧事業費：集中豪雨や台風などによる被害箇所を現状復帰させる費用
- ▼繰出金：特別会計等（国民健康保険、公共下水道事業など）に支出したお金の返済
- ▼公債費：市が借りたお金の元金・利子の返済金
- ▼積立金：基金として積み立てたお金

### 【普通会計】

- ▼議会費：議会の運営にかかるお金
- ▼総務費：各種計画の策定や推進、内部管理などの経費
- ▼民生費：障がい者やお年寄りに対する福祉、子育て支援などの事業費
- ▼衛生費：健康で衛生的な生活環境を守るため、保健・医療・環境などに必要なお金
- ▼労働費：資金融資などの労働対策に要する経費
- ▼農林水産業費：農林業の振興を図るための支援や生産基盤整備などの事業費
- ▼商工費：商工業の振興を図るための支援や中小企業、観光振興のための経費
- ▼土木費：道路、河川、公園などを整備するお金
- ▼消防費：市民生活の安全を守る消防活動費
- ▼教育費：学校教育・生涯学習の充実、芸術・文化・スポーツ振興の費用
- ▼災害復旧費：被災した施設などの復旧に要した費用
- ▼公債費：市が借りたお金の元金・利子の返済金

一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・墓園事業特別会計・土地区画整理事業特別会計の4会計と簡易水道事業特別会計の一部をあわせたもの

# 平成21年度の主な事業

## 【総務費】

### ●橋本駅等バリアフリー化事業

橋本駅・林間田園都市駅のバリアフリー化を進めるため、鉄道事業者に対する補助金を支出しました。

1,325万6千円



▶橋本駅のバリアフリー工事

### ●コミュニティバス運行事業

市内3ルートを2台のコミュニティバスで、1日12便運行しました。平成21年10月からは、市民や利用者から要望のあった、ルートの一部変更と停留所20カ所を増設するとともに、土曜日の試験運行も開始しました。平成21年度は16,219人が利用しました。

2,088万7千円

## 【民生費】

### ●第2隅田地区学童保育所設置事業

隅田小学校区の生徒数の増加に伴い、同小学校敷地内に新たに第2隅田地区学童保育所を設置しました。

2,257万5千円

## 【衛生費】

### ●保健福祉センター建設事業

保健福祉センターを建設するため、旧市民病院の解体費及び周辺土地等の購入費などを支出しました。

2億5,469万5千円

### ●各種健診事業

新型インフルエンザ対策の予防接種、妊婦健診、乳幼児健診、ガン検診など、各種健診事業を実施しました。

2億1,763万円



▶乳児健診

## 【農林水産業費】

### ●農林振興事業

都市消費者との交流事業、柿産地のPR、農林業団体への補助金の交付を行いました。

3,777万2千円



▶柿の選別作業（ヤマハシ選果場）

## 【土木費】

### ●市営住宅防水外壁改修事業

国の経済危機対策臨時交付金等を活用し、市営住宅の公共下水道への接続や外壁などの改修を行いました。

5,729万9千円

## 【消防費】

### ●高規格救急車購入事業

国の経済危機対策臨時交付金や合併特例債などを活用し、救急自動車2台を買い換えました。

5,948万2千円

### ●消防団自動車等購入事業

国の経済危機対策臨時交付金や合併特例債などを活用し、岸上・彦谷・柏原・嵯峨谷・竹尾地区の消防団自動車と慶賀野地区の可搬式ポンプを買い換えました。

3,266万5千円

## 【教育費】

### ●高野口小学校校舎改修事業

老朽化した高野口小学校の校舎改修工事を行いました。

3億2,615万円

### ●応其小学校耐震補強事業

応其小学校において、耐震性能を高める補強工事を行いました。

1億6,358万円



▶耐震補強工事を行なった応其小学校

単位：円

収入		わが家の家計			となりの家計	市の決算
費目名	今月(H21)	先月(H20)	先々月(H19)	類似団体(H20)	科目名	
給料	基本給	132,197	133,435	134,119	162,704	市税、使用料及び手数料、諸収入等
	諸手当	202,607	171,956	163,776	171,514	地方交付税、国・県支出金、各種交付金等
	小計	334,804	305,391	297,895	334,218	
	前月からの繰越し	5,449	3,138	2,215	8,281	繰越金
	預金の取り崩し	4,620	13,263	36,741	9,425	繰入金
	借金	42,787	47,112	45,948	32,119	市債
	合計	387,660	368,904	382,799	384,043	

単位：円

支出		わが家の家計			となりの家計	市の決算
費目名	今月(H21)	先月(H20)	先々月(H19)	類似団体(H20)	科目名	
義務的な経費	食費	80,059	80,385	83,062	74,804	人件費
	教育費・医療費	47,697	44,244	41,733	52,695	扶助費
	ローン返済	43,765	43,843	44,127	51,376	公債費
	小計	171,521	168,472	168,922	178,875	
	サークル等各種会費	62,886	43,086	34,973	39,194	補助費等
	光熱水費	48,294	46,434	54,186	42,966	物件費
	子どもへの仕送り	46,411	43,984	46,428	38,042	繰出金
	耐久消費財の購入	42,313	50,850	46,640	51,214	投資的経費
	家の修繕費	3,418	3,205	2,740	3,568	維持補修費
	株式投資	1,951	1,085	1,848	10,217	投資及び出資金等
	預金	3,749	10,611	22,788	7,672	積立金
	その他雑費	0	0	0	398	前年度繰上充用金
	合計	380,543	367,727	378,525	372,146	

単位：円

残高		わが家の家計			となりの家計
費目名	今月(H21)	先月(H20)	先々月(H19)	類似団体(H20)	
借金残高	431,160	422,071	407,849	423,388	
預金残高	72,440	70,720	70,747	75,712	

### 家計の特長

#### 収入

- **今月の給料は増えただけ・・・。**  
基本給は減りましたが、諸手当が増えたため今月の給料は増加しました。しかしこの諸手当の増加は一時的なものです。  
※景気悪化などにより市税収入などが減りましたが、国からの交付税や交付金（経済危機対策経費）などが増えたため、諸手当が増えました。
- **預金の取り崩しが少なくなりました。**  
食費や耐久消費財の購入を節約し、預金の取り崩しが少なくなりました。
- **今月の借金は減りました。**  
耐久消費財の購入をおさえたため、先月と比べて借入額が少なくなりました。

#### 支出

- **食費が少し減りましたが・・・。**  
となりの家計より約5千円多い食費となっています。しかし今後は減少する見込みです。  
※食費（人件費）が類似団体よりも多くなっています。採用抑制による職員給は減少しているものの、退職者の増加に伴う退職金の増加などによるものです。
- **教育費・医療費が増加しています。**  
教育費と医療費が毎月増えています。これらは今後も増加する見込みであり家計にとって大きな負担となっています。  
※教育費と医療費（扶助費）が年々増加しています。これは生活保護受給世帯や障がい者自立支援給付費などが増加しているためです。
- **サークル等各種会費が増えています。**  
サークル等各種会費が先月より増えました。今後は減額となる見込みです。  
※市民病院建設時の市債償還額などが増えたため、サークル等各種会費（補助費等）が増えましたが、その増加分は国からの交付税により補てんされています。

ここでは、市の普通会計の決算をある一般家庭の家計に置き換えてみるとどうなるのかについて説明しています。  
一般家庭の家計における金額は、市の決算額を年度末の市の住民基本台帳登録者数（21年度末 67,985人）で割ったもので、「今月」とは21年度を表現しています。

## 市の財政状況を一般家庭の家計にたとえてみると・・・

